

ベトナム、フィリピンへの渡航報告

平成27年7月23日

- 平成21年度より、シンガポールやタイなど東南アジア諸国、及びフランスなどで、本県の「観光・食・モノ」を三位一体で官民連携によりPRする「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を展開。
- 今回(7月12日～17日)、経済発展が著しく、今後の成長ポテンシャルが高いベトナム、フィリピンにおいて、キックオフ・プロモーションとして知事トップセールスを実施。
- 今回の渡航を通じ、大きく3つの成果が得られた。

成果①：インバウンド1万人に向け協力関係を構築

○県、高山市、白川村、十六銀行、大垣共立銀行など官民が連携し、政府要人や大手銀行、大手旅行会社、大手航空会社などを精力的に訪問。本県への観光誘客についての支援を確認。

○円安やビザ取得緩和などの機をとらえ、両国からの宿泊客数をそれぞれ、現在の千人から当面1万人へと大幅増を目指す。

<ベトナムから岐阜県への宿泊客数 H25:340人 H26:930人、 フィリピン H25:380人 H26:1180人>

(ベトナム)

- *ベトナム観光総局長とは、相互に協力し、互いの観光客増への取組みを始めることを確認。
- *BIDV(ベトナム投資開発銀行)会長は、**今秋にも観光ミッションを岐阜へ派遣**したいとの意向を示し、ベトナム観光総局長からも協力を要請され、県としても歓迎、協力することとした。
- *ベトナム観光総局長、ホーチミン市人民委員会委員長から、ホーチミン市で**今秋開催予定の国際観光展への参加を提案**された。
- *大手訪日旅行会社ヴェットラベル会長は、将来的には**岐阜を観光の重点地**にしたいので、早速、担当者を岐阜へ送り調査させる意向を示した。なお、8月中旬に10名程度の旅行関係者及びメディア関係者の派遣に関する協力の要請があり、今後、早急に準備する。
- *ホーチミン市での**観光セミナー・商談会**では、県や県内9市の担当者、観光団体等が精力的に売り込みを実施。来場者からは、具体的な宿泊施設や自然、農業を体験できる施設の問い合わせや、鵜飼の入った観光ルートを検討したいといった声が聞かれた。(ベトナム全土から22社、29人の旅行・メディア関係者が参加)

(フィリピン)

- *BDO銀行に対し、同銀行の100万人以上のカード会員向けに「岐阜県への旅行ツアーのディスカウントプロモーション」や「岐阜県内の高級ホテルやレストラン、航空運賃のディスカウント」などを提案し、今後実現に向けて相互に協力していく合意を得た。同行会長からは、**全ての航空会社を視野に入れ**、フィリピンから岐阜県への観光客を増加させたいとの発言があった。また、同頭取からは、インセンティブも含め、**魅力的なプラン等**

の情報をしっかり提供することが大切との助言を受けた。

*フィリピン航空へは、中部国際空港副社長とともに訪問し、共同広告やフィリピンで最大級の観光博での共同プロモーション、フィリピン航空関係者の岐阜県への招聘を提案し、実現に向け協力していくことを合意。また、マニラ＝中部便の増便や機材の大型化等を要望したところ、それに応えられるよう検討する旨の発言があった。

成果②：飛騨牛本格輸出に向けた確かな手ごたえ

- 大使公邸での岐阜県PRレセプションなどで、本県の「観光・食・モノ」の魅力を大々的にアピール。
- 特に、飛騨牛は高い評価を頂き、フィリピンでは3件の商談が成立。両国への来年の本格輸出に向けた取組みを加速化していく。

(ベトナム)

*ハノイの大使公邸、ホーチミンの総領事公邸において、飛騨牛や地酒などを提供。飛騨牛は、「食感が柔らかく、今まで食べた中で一番おいしい」「ベトナムで流通すれば人気がある。他の和牛にも勝てる。」「ベトナムへの輸出を可能とし、高級レストラン等で食べられるようにしてほしい。値段は高くても売れる。」などの声があがった。

*ホーチミン市人民委員会委員長の面談時にも、飛騨牛を輸入したいとの発言があった。

(フィリピン)

*マニラの日本大使公邸でのPRレセプション「Feel Gifu」は、当公邸で初めて自治体が主催するレセプション。出席者も150名と大盛況ぶり。協力いただいた石川大使からも、これほどの規模のレセプションは過去になく、大使館としても大変有意義であるとの話があった。

*各界からそうそうたる方に出席いただき、幅広いネットワーキングを精力的に展開。

(主な出席者)

シーザー・プリシマ財務大臣、グレゴリー・ドミンゴ貿易産業大臣、ラカンルール外務事務次官、フェルナンド・マルコス・ジュニア上院議員（第10代マルコス大統領子息）、バルシー・アキノ・クルス ニーノイ&コーリイ基金 chairperson（アキノ大統領の姉）、ジェイム・J・パウティスタ フィリピン航空社長、アマンド・テタンコ中央銀行総裁、ラモン・アング サンミゲル株式会社代表取締役社長 など

*現地マスコミの取材も多数あり、本県観光地の魅力や飛騨牛の販路開拓などについて説明。

*県内9市（岐阜市、大垣市、高山市、関市、中津川市、恵那市、飛騨市、郡上市、下呂市）の担当者や県内の観光、地場産品業者3社が、会場において観光紹介や商品展示を行い、それぞれの魅力をPR。

*飛騨牛や鮎、地酒、県産のお茶、米麺、柿や栗のお菓子などを招待者に食していただき、好評を得る。

*飛騨牛は「食感が柔らかく、フィリピンで売られている牛肉とは全く違う」「近いうちに岐阜県へ行って、本場の飛騨牛を味わいたい」といった感想が聞かれた。

*飛騨牛輸出について、レセプション中に3件の商談が成立。

成果③：自治体間交流と経済交流の促進

(1) ベトナム・ゲアン省との友好提携へ

- ・農業、投資、人的交流などの分野での交流を図っていくことを合意。今後、交流内容を具体化し、覚書の締結を目指す。

*ゲアン省の訪問団が平成23年に来岐し知事を表敬。県内企業も同省へ進出。
*同省を訪れた**初の日本の知事**として大歓迎を受け、同省共産党書記長等と面談。
*農業技術者の研修受け入れや指導者派遣、県内企業による経済ミッション派遣、岐阜県での投資セミナーの開催、県内大学への留学生受け入れ、スポーツ交流などを提案。
*ゲアン省からも、観光分野での交流促進や、投資ミッションを岐阜県に派遣したい意向などが示された。
*ベトナム政府関係者からも、岐阜県とゲアン省の交流について、ベトナム政府としても支援する旨の発言があった。

(2) ホーチミン市との友好提携へ

- ・観光、農業、貿易（飛騨牛）の各分野において、今後、覚書の締結を目指す。

*ホーチミン市人民委員会を訪問し、委員長以下全幹部の歓迎を受けた。
*観光、農業、貿易（飛騨牛）の各分野において、先方から覚書の締結の提案があり、今後、内容を具体化し、覚書の締結を目指す。

(3) ベトナムへの投資促進や経済交流に向けた協力を確認

*十六銀行や大垣共立銀行の両頭取も渡越し、現地進出の県内企業関係者と懇談。ベトナムにおける投資環境や課題などについて意見交換を実施。
*ベトナム副首相や同計画投資副大臣、同農業農村開発副大臣、ゲアン省政府要人などからは、**ベトナムへの投資促進への協力要請**があり、県としても、県内金融機関等とも連携し、投資セミナーや経済ミッションの派遣などに取り組むと表明。
*十六銀行や大垣共立銀行からも、**ベトナムに関心を持つ県内中小企業は多く**、ベトナムでモノづくりを展開するにあたってサポートしたいとの発言があった。

<その他>

○ベトナム進出の県内企業関係者との懇談

*今回の知事訪問を機に、岐阜県において**ベトナム友好団体結成への機運**が高まる。

○マニラにおいて県ゆかりの方と懇談

*岐阜県出身のマニラ日本人会副会長らと懇談。今回の知事訪問を契機に、**民間レベルで「マニラ岐阜県人会」**を立ち上げることとなった。

<総括>

- 今回、初めての地ということで、手探りで進めたが、議長にも同行いただき、十六銀行、大垣共立銀行、現地への進出企業などにもご協力をいただき、十分な手ごたえを得て、今後の可能性を大いに実感することができた。
- 今後、今回の合意事項などを丁寧かつスピード感をもってフォローし、具体的な成果へつなげていく。